

2011年8月3日(水)

財団法人 日本サッカー協会

2011年度 第4回理事会

## 協議事項

## 1. 2010年度公認S級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため、以下4名を公認S級コーチとして認定したい。

氏名：須永 純（すなが じゅん）

指導チーム：JFA アカデミー福島

生年月日：1975年4月27日

資格：2006年 A級ライセンス

指導歴：1999年～2001年 市川3中サッカークラブ コーチ  
市川高校サッカー部 ゴールキーパーコーチ  
順天堂大学蹴球部 ゴールキーパーコーチ  
1999年～2002年 榊東日本 JR 古河サッカークラブ  
アシスタントゴールキーパーコーチ  
2002年～2003年 明海大学サッカー部 監督  
2003年～2004年 榊東日本 JR 古河サッカークラブ U-13 監督  
2004年～2005年 榊東日本 JR 古河サッカークラブ U-14 監督  
2005年～2006年 榊東日本 JR 古河サッカークラブ U-15 監督  
2006年～現在 JFA アカデミー福島 ゴールキーパーコーチ

氏名：山路 嘉人（やまじ よしひと）

指導チーム：ベガルタ仙台

生年月日：1971年1月13日

資格：2005年 A級ライセンス

指導歴：2001年～2002年 ベガルタ仙台 育成コーチ  
2003年～2004年 ベガルタ仙台ユース コーチ  
2005年～2006年 ベガルタ仙台ユース 監督  
2007年 ベガルタ仙台 スクールマスター  
2008年 ベガルタ仙台ユース 監督  
2009年～現在 ベガルタ仙台 育成部長

氏名：松永 利弘（まつなが としひろ）

指導チーム：名古屋グランパス

生年月日：1962年8月14日

資 格 : 2004年 A級ライセンス  
 指 導 歴 : 1992年～1994年 名古屋グランパスジュニアユース/サッカースクール  
 1995年 名古屋グランパスユース コーチ  
 1996年～1998年 名古屋グランパスジュニアユース コーチ  
 2000年～2005年 SC豊田ジュニアユース/ジュニア 監督  
 2001年～2003年 トヨタ蹴球団 コーチ  
 2006年～現在 名古屋グランパス 育成ダイレクター  
 (Jリーグアカデミーダイレクター)

氏 名 : 吉澤 英生 (よしざわ ひでお)

指導チーム : 未定

生年月日 : 1972年4月10日

資 格 : 2005年 A級ライセンス

指 導 歴 : 2002年～2005年 Honda FC コーチ  
 2005年～2007年 Honda FC 監督  
 2008年～2009年 FC琉球 監督  
 2009年～2011年6月 松本山雅フットボールクラブ 監督

※参考 : 現S級コーチライセンス保持者数 : 346名 (上記4名含む)

※参考 : 2010年度公認S級コーチ承認数 : 18名 / 25名 (上記4名含む)

## 2. 大学・専門学校における指導者養成講習会開設の件

以下の大学において、2011年度より公認D級コーチ養成講習会の開設を認めたい。

### ■ 成美大学 (京都府) (D級)

インストラクター : 足立 昌義 (47FAインストラクター) 公認A級コーチ

参考 : 開設認定校数 大学 : 34校 短大 : 2校 専門学校 : 16校 (上記含まず)

## 3. 基本規程およびドーピング防止規程 改正の件

### (協議) 資料No.1

#### (1) ドーピング防止規程

第1条〔世界ドーピング防止規程、日本ドーピング防止規程及び国際サッカー連盟  
ドーピング禁止規程〕

→ 公益財団法人への移行に伴い、「公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構」  
へ名称を変更する。

第9条〔通知〕

→ 公益財団法人への移行に伴い、「公益財団法人日本オリンピック委員会」へ  
名称を変更する。

第11条〔ドーピング防止規則違反の審査〕

→ 一般財団法人格取得に伴い、「一般財団法人日本スポーツ仲裁機構」へ名称  
を変更する。

4. 環境プロジェクト メンバー交代の件
<p>環境プロジェクトメンバーを、環境省の人事異動に伴い、以下の通り交代したい。</p> <p>現) 環境省 / 植田 明浩 (うえだ あきひろ)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>新) 環境省 / 室石 泰弘 (むろいし やすひろ)</p> <p style="text-align: center;">※地球環境局 地球温暖化対策課長</p>
5. 日本人指導者海外派遣の件
<p><b>(協議) 資料No.2①②</b></p> <p>(1) グアムサッカー協会</p> <p>グアムサッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として以下の指導者のグアムサッカー協会 (G F A) への派遣をお諮りしたい。派遣時期は8月上旬を予定している。</p> <p>被派遣者： 内田一夫 (うちだ かずお) / 49 歳</p> <p>資 格： 公認S級コーチ (2005年取得)</p> <p>派遣先協会： グアムサッカー協会 (G F A)</p> <p>役 職： グアム代表監督</p> <p>契約期間： 8月1日～9月10日</p> <p>費用負担： [J F A] 日当及び傷害保険料, [G F A] 自動車、遠征経費、住居費、 日本ーグアム間の航空券</p> <p>被派遣者略歴： 添付別紙のとおり</p> <p>&lt;背景及び実施理由&gt;</p> <p>グアム代表チームは現在F I F Aランキング190位である。</p> <p>今年1月まで築館範男氏が約5年間代表監督を務めていたが、契約期間が満了。</p> <p>日本人監督の米国ビザ取得が困難となり、グアム協会は仕方なく米国籍指導者の代表監督就任を志向し候補者が探していたが、未だに適任者が見つからない状況が続いている。</p> <p>そのような状況の中、南太平洋諸国のオリンピック委員会が主催する2011 Pacific Games (8月27日-9月10日 ニューカレドニアにて開催) に急遽参加することになったとのことで、1カ月強という超短期であるが日本人指導者の派遣要請があったもの。</p> <p>前々任の神戸清男氏、前任の築館氏と2代続けて代表監督を派遣したきたグアム代表チームは選手も日本人指導者の指導に慣れており、協会間の友好関係にも鑑みて派遣をしたいもの。短期間の派遣なので査証取得は問題なくできる。</p> <p>(2) ミャンマーサッカー協会</p> <p>ミャンマーサッカー連盟からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として以下の指導者のミャンマーサッカー連盟 (M F F) への派遣をお諮りしたい。派遣時期は8月中旬を予定している。</p> <p>被派遣者： 熊田喜則 (くまだ よしのり) / 49 歳</p> <p>資 格： 公認S級コーチ (2005年取得)</p> <p>派遣先協会： ミャンマーサッカー連盟</p>

役 職 : ミャンマー女子代表監督  
 契約期間 : 2011年8月15日～2013年1月31日  
 費用負担 : [JFA] 給与の一部及び傷害保険料,  
 [MFF] 給与の一部、自動車、遠征経費、住居費、  
 日本－ミャンマー間の航空券  
 被派遣者略歴 : 添付別紙のとおり

<背景及び実施理由>

ミャンマーは伝統的にサッカーが盛んな国であり、国民の間でのサッカー人気は目を見張るものがある。2009年にZawZaw会長の強力なリーダーシップでプロリーグを立ち上げ、初年度の平均観客数が10,000人/試合を上回り、サッカー関係者の間でも驚きをもって受け止められた。女子サッカーの伝統もある国である。

今年6月にミャンマーサッカー連盟から女子代表監督の派遣要請があり、人選の結果熊田氏が最終候補となったもの。

ミャンマーの女子代表チームは現在FIFA女子ランキング44位であるが、今回担当するチームは2013年にミャンマーがホストするSouth East Asian Games 2013（アセアンのオリンピックと言われる大会）での成績が問われるチームであり、その強化に日本人監督をお願いしたいというのがミャンマー側の意向である。

数年先を見据えた契約となるが、契約期間自体は最初の約一年半の契約期間以降は単年度を基本とし、一年ごとに更新をしていく方式をとりたい。

MFFとはこれまでフットサルの代表監督をJFAより派遣したり、先方よりプロリーグ研修団を受け入れるなど緊密な関係を維持しているが、今後より堅固な人脈を構築し、関係を強化するためにも本派遣は大いに寄与するものと思われる。

6. 2011年度 功労賞の件

地域及び都道府県FAから申請があった以下の20名の方に、功労賞を授与したい。

※対象者

- (1) 地域及び都道府県FA三役（会長、副会長、専務理事及び理事長）を退任された方  
 (2) 地域FA役員を退任された方(役員歴20年以上)：各地域FA 年度毎2名以内

No.	FA	氏名	前(元)役職
1	北海道	中村 博司	理事(地域FA役員20年以上)
2	北海道	園田 俊郎	理事(地域FA役員20年以上)
3	東北	舩山 景正	理事(地域FA役員20年以上)
4	青森県	竹村 俊二	副会長
5	青森県	佐々木 正男	副会長
6	山形県	長堀 朝也	副会長
7	山形県	名古屋 逸	副会長
8	栃木県	上野 佳昭	副会長
9	千葉県	千葉 滋胤	副会長
10	富山県	堀田 正之	副会長

11	石川県	高畑 俊成	専務理事
12	愛知県	森本 裕康	専務理事
13	岐阜県	市川 忠男	副会長
14	滋賀県	松木 栄一郎	副会長
15	京都府	田中 偉晃	会長
16	京都府	山口 森久	副会長
17	和歌山県	室 紀男	副会長
18	島根県	伊藤 實	副会長
19	島根県	岩成 潔	専務理事
20	熊本県	藤野 健一	副会長
7. 懲罰の件			
<p>1. 中国サッカー協会からの懲罰案件について</p> <p>一審判に対しての暴行・脅迫一</p> <p>大会名：第39回中国サッカーリーグ</p> <p>日時：5月29日</p> <p>違反行為の概要：</p> <p>デッツォーラ島根 総監督 若三 康弘(わかみ やすひろ)氏は、主審・第4の審判に対し、暴言を吐き、脅迫と取れる発言をした。若三氏は過去に同じような退席処分を繰り返しており、一向に改善が見受けられない。</p> <p>被処分者：デッツォーラ島根 若三 康弘(わかみ やすひろ) 総監督 (44歳)</p> <p>処分開始日：5月29日</p> <p>理由：(財)日本サッカー協会基本規程第12章 懲罰</p> <p>[別紙1]●2-6 主審および副審に対する暴行・脅迫</p> <p>処分案：12ヶ月の公式試合の出場停止</p> <p>身体的暴力行為がなかったため、懲罰の軽減対象となりうるが、監督であることを考慮し、原則通り12ヶ月の公式試合の出場停止処分とする。</p> <p>ただし、同種の行為が繰り返されていることに鑑み、次回同種の行為が行われた場合は無期限の出場停止処分とする。</p>			
8. リスペクト・プロジェクトの件			
<p>(1) リスペクトFC Japan (仮称) の開設について</p> <p><b>(協議) 資料No.3</b></p> <p>(2) リスペクトFC Japan (仮称) 設立イベントについて</p> <p><b>(協議) 資料No.4</b></p>			
8. なでしこジャパン海外強化指定選手制度の件 (上田理事)			
<p>2011年度対象選手として以下の1名を新たに推薦したい。</p> <p>氏名：熊谷 紗希 (くまがい さき)</p> <p>所属チーム：1. FFC Frankfurt (ドイツ 女子ブンデスリーガ1部)</p> <p>生年月日：1990/10/17 20歳</p>			

<p>身長：171cm          体重：59kg          ポジション：DF          国際Aマッチ キャップ数：29          大会個人賞等：なし          海外チームでのプレー歴：なし</p> <p>※なおキャップ数は2011年7月18日時点のもの</p>
<p>9. U-14 日本選抜 中国国際招待の件</p> <p>以下の通り、U-14 日本選抜の中国遠征を実施したい。</p> <p>行事名：U-14 日本選抜 中国遠征／          CFA国際ジュニアフットボールリーグ&amp;フェスティバル</p> <p>期間：8月14日(日)～27日(土)          場所：中国雲南省・昆明市 ハイゲン・スポーツトレーニングセンター</p> <p>[スケジュール]</p> <p>8月14日(日) 集合・移動 トレーニング          15日(月) 開会式 試合          16日(火)～19日(金) 試合          20日(土)、21日(日) 文化交流など          22日(月)～26日(金) 試合          27日(土) 文化交流・移動・解散</p> <p>[スタッフ] 4名</p> <p>監督：木村 康彦 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)          コーチ：調整中 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)          GKコーチ：調整中 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)          ドクター：調整中</p> <p>[選手]</p> <p>※次回報告(計18名)</p>